

科目名	成人看護援助論Ⅲ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師 看護師として5年以上の実務経験を有する 専任教員		2年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	近年、医療技術の進歩に伴い確立された検査や治療が行われる一方、それぞれの患者には個別性があり、難病指定の疾患や悪性腫瘍など長期にわたり苦痛を伴う治療を余儀なくされることもある。また、人は自分の生を生き、そしていつかは必ず死を迎えるため、看護師には対象に応じた看護が求められる。そこで、専門基礎分野で学んだ知識と関連させながら、各機能に障害のある対象の特徴を理解し、それぞれに応じた看護実践力を養う必要があるため当該科目を設定した。					
学習目標	1 終末期にある対象とその家族の特徴および看護を理解する 2 血液悪性疾患、肝臓・胆嚢疾患、膵臓疾患、HIV/AIDS、感覚機能障害のある患者の看護を理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1~4	血液悪性疾患患者の看護	1 白血病患者の看護 2 悪性リンパ腫患者の看護 3 がん薬物療法と看護 4 放射線療法と看護 5 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 6 輸血療法を受ける患者の看護				講義
5~8	肝臓・胆嚢疾患患者の看護	1 肝炎患者の看護 2 肝硬変症患者の看護 3 肝がん患者の看護 4 胆石症患者の看護				講義
9	膵臓疾患患者の看護	1 急性膵炎患者の看護 2 慢性膵炎患者の看護 3 膵臓がん患者の看護				講義
10	HIV/AIDS患者の看護	1 HIV/AIDS患者の病期に応じた看護 (1) 急性感染期 (2) 無症候期 (3) エイズ発症期				講義
11~12	感覚機能障害のある患者の看護	1 眼疾患をもつ患者の看護 (1) 中途視覚障害 (2) 白内障 (3) 緑内障 (4) 網膜剥離 (5) 検査・手術を受ける患者の看護 2 耳鼻咽喉疾患をもつ患者の看護 (1) 突発性難聴 (2) メニエール病 (3) 副鼻腔炎 (4) 咽頭がん 喉頭がん (5) 検査・手術を受ける患者の看護				講義
13~14	人生の最期のときを支える看護	1 延命治療から患者の自己決定を重視した医療へ 2 人生の最期のときにおける緩和ケア 3 人生の最期のときを過ごしている人への理解 4 人生の最期のときを支える看護				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論		小松 浩子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器		飯野 京子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5]消化器		南川 雅子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症		岩田 健太郎 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13]眼		大鹿 哲郎 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14]耳鼻咽喉		小松 浩子 他		医学書院	
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術		任 和子 他		医学書院	
参考図書・資料等	新体系 看護学全書 成人看護学⑨ 感染症 アレルギー・免疫 膠原病		竹田 美文 他		メヂカル フレンド社	
評価方法	筆記試験、グループワーク、レポート、出席状況などを総合的に評価する					